

I 貿易投資をめぐる環境変化

経済ブロック化の危機

- ◆ 世界経済は「統合」から「分散」、「分断」へ。ブロック化すれば、世界のGDPの約2.5-7%を喪失。[分断を回避するための行動が必要](#)

経済安全保障の重要性の高まり

- ◆ 安全保障の裾野が経済分野まで拡大。特定国・地域への過度の依存を避けるべき。[サプライチェーン強靱化のための同志国等との連携強化、経済的威圧の抑止等を目的としたルールの整備が必要](#)

サステナビリティの重要性の高まり

- ◆ 気候変動対策が自由で公正な貿易投資との緊張関係を生じさせる面あり。特定の物資を特定国・地域に依存。[円滑な取引のためのルール作り、サプライチェーン強靱化のための同志国等との連携強化が必要](#)

自由で開かれた国際経済秩序を再構築すべき時。本提言は再構築の基本的な方向性と現時点で考え得る具体的な方策を提示することで、**再構築をめぐる議論を国内外で喚起することが目的**。議論を通じて得られた知見を「Future Design 2040」の策定に活用

II 自由で開かれた国際経済秩序の再構築の基本的方向性

グローバルサウスとの連携強化 (※2024年4月公表の提言参照)

①自由で公正な貿易投資（公正性・公平性）

- ・ プルリ、バイによる自由で公正な貿易投資の実現
- ・ 市場アクセス、ルール両面でのハイレベルな内容の確保
- ・ 内国民待遇の確保に対する留意
- ・ WTO改革の推進

②経済安全保障（強靱性）

- ・ 紛争解決手続が機能しない中での経済的威圧の抑止
- ・ 過度な依存関係是正のためのサプライチェーンの強靱化

自由で公正な貿易投資、経済安全保障、サステナビリティを一体的かつ相互に補強し合う形で推進

③サステナビリティ（持続可能性）

- ・ 環境に優しい財・サービスの円滑な流通
- ・ 過度な依存の回避のためのサプライチェーンの多様化

III 自由で公正な貿易投資の維持・強化

- ✓ EPA/FTA
 - ・ CPTPP（加入エコノミー拡大、ルール整備等）
 - ・ RCEP協定（参加国の履行確保、関税削減対象の拡大・撤廃スケジュールの前倒し）、日中韓FTAの交渉加速
 - ・ グローバルサウスとのEPA/FTA（メルコール、GCCとのEPA等）
- ✓ 投資協定（中南米、アフリカ等）

IV 経済安全保障の要素を取り込んだ強靱な貿易投資環境の実現

- ✓ 内外無差別の重視
- ✓ 経済的威圧等への対応（CPTPPで規定を新設）
- ✓ 安全保障例外の見直し（貿易制限措置の抑制につながるルールの整備を検討）
- ✓ サプライチェーン強靱化に向けた同志国等との連携

V サステナビリティの確保を通じた自由で公正な貿易投資の拡大

- ✓ 規制の透明性の確保、規制協力の推進
- ✓ 環境物品の貿易促進等（環境物品協定交渉の再開）
- ✓ 炭素国境調整等に関する国際合意の形成（炭素価格、製品の体化排出量の算出方法等の合意形成に向け尽力）

VI WTO改革の推進

- ✓ 紛争解決機能の回復
- ✓ ルール策定機能の強化（DFFT実現、公平な競争条件の確保等）
- ✓ 協定履行監視機能の強化